

第16回 電気システムセキュリティ特別技術委員会
議事録(案)

日時 : 平成27年 9月 28日(月) 15時00分~17時20分

場所 : 自動車会館 1階 会議室

出席者 : 栗原委員長, 徳田委員(A部門代表), 遠藤様(佐藤委員(B部門代表)代理),
泉井委員(C部門代表), 川上委員(D部門代表),
瀬戸委員(2号委員), 餘利野委員(2号委員), 芹澤委員(2号委員), 奥村委員(2号委員),
毛塚委員(2号委員), 桂幹事(敬称略), 以上11名

配付資料

- 資料16-0 第16回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事次第
- 資料16-1 第15回 電気システムセキュリティ特別技術委員会 議事録(案)
- 資料16-2 電気システムセキュリティ特別技術委員会 委員名簿
- 資料16-3-1 「スマートグリッドにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」活動報告
- 資料16-3-2 「安全・安心の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」活動報告
- 資料16-3-3 「Cyber Physical Systems Security 特別調査専門委員会」活動報告
- 資料16-3-4 「スマートグリッドのスマートファシリティ内における EMC 環境特別調査専門委員会」
活動報告
- 資料16-3-5 「社会インフラ用センサシステムセキュリティ特別調査専門委員会」活動報告
- 資料16-4 平成28年電気学会全国大会シンポジウム関連
- 資料16-5 電気システムセキュリティ特別技術委員会 概要

議事概要

1 開会挨拶

栗原委員長より, 開会にあたり挨拶があった。

2 前回議事録の確認

資料16-1に基づき, 平成27年6月26日に開催された第15回委員会の議事録(案)について確認を行い, 修正の上で承認された。

3 特別調査専門委員会からの報告

3-1 「スマートグリッドにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」(瀬戸委員)

資料16-3-1に基づき, 活動状況について報告があった。8月24日に開催された第6回委員会での審議内容について報告された。

技術報告について, 年度内(平成28年3月)に第一次分原稿が出そろふことを目指す。目次内の総論(瀬戸委員長執筆)の案について紹介された。

(栗原委員長) 雷を含めて4大脅威とするのか。

(瀬戸委員) IEEE の委員会では別に扱われているが, 含めることを考えている。建屋, 素子等どこまで技術報告に含めるか, 他の委員会等と重ならない範囲で検討する。

(徳田委員) 検討する立場の違いがあるので, 多少の重複は認めて頂き, 隙間ができないようにするのが重要であろう。

(栗原委員長) 防護は設計段階で考えておくべきものなのか。

(瀬戸委員) そのようにすべきと考える。

(奥村委員) 雷について、他の3つとは防護の考え方が違うから外しているのではないかと。

(瀬戸委員) 電磁的セキュリティとしては、雷は重要な要素なので含めたいと考えている。

(栗原委員長) システム設計はすべて共通するものとして執筆するのか。

(瀬戸委員) 現象別に執筆することになる。

報告形態は単行本として発行することを考えている。

3-2 「安全・安心の電気エネルギーセキュリティ特別調査専門委員会」(餘利野委員)

資料16-3-2に基づき、活動状況について報告があった。

デマンドレスポンスの作業会を第8回(7月15日)に開催した。

学会誌(本誌)での特集記事「安全・安心社会の電気エネルギーシステム」(平成27年11月号、12月号)について、執筆が完了したことが報告された。

・11月号:「電力システムを取り巻く環境と課題・展望」

・12月号:「安全・安心社会に向けての課題と将来への取り組み」

技術報告について、学会誌の原稿等を纏めたものとして発行したいと考えている。付録でこれまでの活動内容をつけたい。

(栗原委員長) 学会誌で出したものと同じものを技術報告にできるのか。電気学会に確認して頂きたい。

(餘利野委員) シンポジウムのパワーポイント資料を付録として付けることなど考えているので、そのまま同じ内容にはならないだろう。また、一般の技術報告とは異なるスタイルになると思われる。

(栗原委員長) 9月末で設置が完了するので、整理委員会を設置するのか、設置期間を延長するのか、委員長の意向で決めて頂きたい。

後継委員会についてもご検討頂きたい。

(餘利野委員) 調査は完了しているが、報告書の取り纏めと全国大会のシンポジウムがあるので、設置期間を延長するようにしたい。

(栗原委員長) 設置期間の延長に必要なプロセスについて、電気学会に確認する。

3-3 「Cyber Physical Systems Security 特別調査専門委員会」(泉井委員(芹澤委員代理))

資料16-3-3に基づき、活動状況について報告があった。

第6回委員会(8月26日)での審議内容、C部門大会でのシンポジウムセッションについて報告された。次回委員会を10月30日に開催する予定である。来年のC部門大会のシンポジウムセッションをもって解散としたい。

(栗原委員長) 活動のフェーズ2については後継の委員会にて取り扱うのか。

(芹澤委員) 考察・提言をフェーズ2にするのか、これから議論していきたい。

3-4 「スマートグリッドのスマートファシリティ内における EMC 環境特別調査専門委員会」(奥村委員)
資料16-3-4に基づき、活動状況について報告があった。

第4回委員会(3月4日)、第5回委員会(5月12日)、第6回(7月17日)の議事内容の報告があった。下記の5つの分野について調査・検討を進めている。

- ① BEMS
- ② HEMS
- ③ 静電誘導
- ④ スマートメーター
- ⑤ 接地及びSPD

(栗原委員長) このまま進めて頂きたい。

3-5 「社会インフラ用センサシステムセキュリティ特別調査専門委員会」(毛塚委員)

資料16-3-5に基づき、活動状況について報告があった。

第3回委員会(7月31日)での審議内容について報告された。合わせて、7月31日に(一財)電力中央研究所狛江地区への見学会を行った。

全国大会シンポジウムの提案(3時間もの)について説明があり、承認された。

4 平成28年全国大会シンポジウム提案について

資料16-4に基づいて、確認を行った。本部提案として、本特別技術委員会より1件シンポジウムを提案することが承認された。平成28年3月16日午前(3時間もの)として提案する。

栗原委員長(講演20分、討論5分)に続いて各特別調査専門委員会委員長(講演23分、討論5分)の講演とする。最後に総合討論を15分設ける。

「社会インフラ用センサシステムセキュリティ特別調査専門委員会」から別途1件シンポジウムを提案することが承認された。開催日は重ならないように、3月17日か18日の午前とする。

提案書の締め切りは平成27年10月15日(木)である。

5 電気システムセキュリティ特別技術委員会 概要について

資料16-5に基づいて、特別調査専門委員会の概要について確認を行った。

(瀬戸委員)「スマートグリッドにおける電磁的セキュリティ特別調査専門委員会」に関して、防護についても含むべきである。

(毛塚委員)「社会インフラ用センサシステムセキュリティ特別調査専門委員会」に関して、マネジメントを含んではどうか。

(泉井委員) 電気システムの全体像を示し、その中で電気学会の取り扱う範囲、さらに、各部門での活動範囲を示して、全体として、抜けが無いことなども、説明に入れてはどうか。

6 その他

なし

以上

次回開催：第17回 委員会：平成27年 12月(14日の週で調整)